

9・25	震災被害	
	死者	1万5805人（前日比同じ）
	行方不明	4040人（同上）
	避難者（9・8現在）	7万4900人

脱原発から「脱米原子力空母」へ—民衆は動く

- 9・25 P K O 武器使用基準緩和論—民主・前原政調会長、与野党協議呼びかけ、「法改正が必要なので与野党で議論していただくことが大事だ」（9・26 A）
- 9・25 横須賀抗議集会「原発ゼロへ！ 原子力空母はいらない！」—米原子力空母配備 丸3年、4500人参加（9・26 H）
- 9・26 A 「海へ原子母炉投棄、米探る—72年条約策定時、日本に協力要請」「廃炉見越し日本へ秋波—海洋投棄、処分困難今なお」「首相、原発容認へ回帰—再稼働時機を明言、輸出も維持方針」
- 9・26 M 「野田政権 3原則—①余計なことは云わない ②派手なことはしない ③突出しない—『安全運転』首相提示」
- 9・26 Y 「共通番号法案先送りへ、社会保障と税—利用開始、16年にずれ込みも」「原発対策拠点全電源失う、震災発生直後—福島・大熊町、半日機能せず—発電機、耐震規定なし」
- 9・26 各紙社説、論説
- A 「新しい公共の世紀へ—市民の力で社会を変える」／中東アフリカ総局長・石合 力「風—トリポリから—カダフィ大佐、主演舞台の結末いかに」
- M 「防災教育—担い手を作る視点を」／「サイバー攻撃—国内外で連携し斗おう」
- Y 「国家安保会議—官邸の司令塔を強化せよ」／「医療情報電子化—被災地から全国へ展開したい」
- N 「『非正規』の年金拡大は公平性と両立を」／「原発安全に強い指導力示

せ」／論説副委員長・脇 祐三「核心一米の退潮、中東秩序揺らす一粘る王政、台頭するトルコ」

T 「上関町長選一原発マネーと別れよう」／「南スーダン派遣一安全見極め国際貢献を」

H 『中間層復活』一非正規労働改善なぜいわない」

陸山会事件 3 被告有罪—小沢政治脱出へのゴング？

9・26

陸山会事件、小沢氏秘書 3 人に有罪判決—東京地裁（登石郁朗裁判長）、陸山会土地取引事件（政治資金規正法違反・虚偽記載）で衆院議員石川知裕被告(38)に禁錮 3 年、執行猶予 3 年、後任元事務担当・池田光智被告(34)に禁錮 1 年、執行猶予 3 年、元会計責任者・大久保隆規被告(50)に禁錮 3 年、執行猶予 5 年の各有罪判決(9・26A)

→9・27A 「ゼネコン裏金認定、小沢氏 3 秘書 有罪判決—談合『天の声』1 億円授受、発覚恐れ虚偽記載」 「検察主張を『満額』復権に影—『背景事情』のカネまでも—『小沢氏裁判は違う』弁護団、初公判控え反発」 「小沢氏復権に影—野田政権、対応及び腰—自民『議員辞職を』」 「説明の合理性重視—自白調書に頼らず判決」 「完敗元秘書ぶぜん、裏書受領認定に衝撃—石川議員、辞職を否定—水谷元会長『驚いた』

／M 「企業との『癒着』指弾、陸山会事件有罪—調書依存を脱却—東京地裁、客観証拠で踏み込む—小沢元代表、共謀の有無焦点」

／N 「小沢事務所の説明一蹴—『組織ぐるみ』断定、元代表公判 立証なお難しく」

9・26

被災状況

死者 1万5811人（前日比6人増）

行方不明 4035人（前日比5人減）

避難者（9・8現在） 7万4900人

●静岡・牧野原市議会、浜岡原発永久停止決議（賛成多数、11対4）

（9・26Y、9・27H）

→9・27T 「原発輸出、首相が推すワケ—企業が延命圧力？—1基当たり総費用数兆円、膨大な経済波及効果」「米に忠誠の証しか—軍事転用危険、ライセンス料貢献—『国内建設再開の意図見える』」

オバマ大統領の広島訪問をはばんだ日本外務省

→9・27 Y 「『オバマ大統領の広島訪問時期尚早』—09年初来日前 藪中次官、米側に」—09・8・28 ルース大使と藪中次官との会談で、大統領の広島訪問に（ウィキリークスの公開米機密公電で判明）

→9・27 各紙社説、論説

A 「3被告有罪—小沢氏の責任は明白だ」／「プーチン氏—権力継承が強引すぎる」／経済グループ・星野眞三雄「増税の論理—『世代間の公平』筋通せ」

M 「陸山会事件有罪—小沢元代表の責任重い」／「予算委員会質疑—首相は発信を怠るな」／新潟支局・小林多美子「記者の目—生活保護200万人の時代、『最後の支え』切り捨てが心配だ」

Y 「元秘書3人有罪—小沢氏は『天の声』も説明せよ」／「衆院予算委—安全運転だけでは物足りない」

N 「陸山会判決で問われる小沢元代表の責任」／「プーチン『独裁』強まるロシア」

ト「陸山会事件有罪—古い裏書政治の根絶を」／「予算委始まる—無駄根絶に力合わせよ」

サ「元秘書全員有罪—小沢氏は即刻議員辞職を、『悪質な犯行』に自ら答えよ」

ハ「秘書有罪—この判決は限りなく重い」

9・27 菅内閣官房報償費（機密費）計 15 億 3000 万円（政府、答弁書決定）—11 年分支出、4・1、21、5・20、6・21、7・21、8・15 でいずれも 1 億円の支出—使途秘匿（9・28M）

9・27 政府・民主「復興増税 9・2 兆円」決定（9・28Y）

9・26 世界の失業者 2 億人—主要 20 カ国・地域（G20）では 08 年金融危機発生後、2000 万人失業—現在の雇用情勢が続けば 12 年までにさらに 2000 万人が失職する（ILO、経済協力開発機構発表）（9・28H）

原発廃止 98%—原子力委の世論調査結果

9・27 被災状況

死者 1 万 5812 人（前日比 1 人増）

行方不明 3985 人（前日比 50 人減）

避難者（9・8 現在） 7 万 4900 人

●原子力政策大綱見直し開始—内閣府原子力委員会—ほぼ半年振りの再開（9・28A）

●群馬県・放射性セシウム汚染マップ（文科省公表）—8・23～9・8 県防災ヘリコプターで測定、汚染帯が 250 キロ超えて広がっている（9・28A）

●除染対象汚染土、最大 2878 万^m—福島、宮城など 5 県（環境省試算）（9・28M）

●「原発廃止」98%—原子力委員会、国民の意見集計結果を発表／「直ちに廃止し、再生可能エネルギー策に転換すべき」67%、「段階的に廃止し、

再生可能エネルギーに転換すべき」31%—意見募集1万189件のうち3060件抽出集計(3・11～8・31までに) (9・28H)

→9・28

各紙社説、論説

A 「原発賠償機構—東電救済に陥るな」／「大統領と広島—なぜ原爆と向き合わぬ」／生活グループ・及川綾子「記者有論—子ども手当、理念も誠実さも見えない」

M 「マータイさん死去—『モットイナイ』を永遠に」／「プーチン 返り咲き—権力のたらい回しだ」／東京学芸部・鈴木英生「記者の目—東日本大震災後の論壇、重みと覚悟のある主張を」／佐藤 優「異論・反論—普天間問題『沖縄の理解を』と首相が訴えました、構造的差別と認識せよ」

Y 「原子力政策大綱—現実を踏まえ冷静な議論を」／「ロシア次期政権—不安も伴うプーチン氏再登板」／村田裕之「論点—一定年後の男性の社会参加、女性主導で巻き込め」

N 「首相政策の中身をもっと語れ」／「超高速ニュートリノの謎と夢」

T 「復興増税—財源探しを尽くしたが」／「プーチン再出馬—民主主義は見せかけか」

H 「予算委 原発論戦—国の責任果たさせることこそ」

組織ぐるみの「やらせ」で原発推進世論を捏造

9・28

被災状況

死者 1万5812人(前日比同じ)

行方不明 3983人(前日比2人減)

避難者(9・22現在) 7万3249人(うち1都6県 2万5780人)

●汚染土壌の中間貯蔵施設「9千万立方メートル必要」—環境省 南川秀樹事務次官(記者会見)、目安示す(9・29A)

●日本の原発輸出始動—日本原子力発電、ベトナムで原発導入を進めるた

めの調査契約を結ぶ—ベトナム、2030年までに14基の原発新設を計画、
これまでロシアと日本が各2基ずつ受注(9・29A)

●中央防災会議、地震・津波対策最終報告書を提出—同会議専門調査会(座
長・河田恵昭 関西大教授)、「地震・津波の最大級の想定」を提言(9・29
M)

●九州電力「やらせ」問題—(判明)政府主催の佐賀県民向け原発説明番
組で経産相エネルギー庁が視聴者からのメール・ファックス計117件を
集計から除外→「やらせ」除くと賛成145件、反対163件/117件の内
訳—賛成16件、反対78件、その他23件(9・29M)

●福島第1原発事故原因究明調査委員会の設置合意—民・自・公・共4党
で合意、国会内に設置することに→「原子力事故調査委員会法案」修正
成立へ(9・29Y)

●除染地域の線引き方針—政府・環境省、追加被曝線量が年間5ミリシー
ベルト未満の地域に国の財政支援しない方針(9・28H)

⇒10・2 政府、方針修正

→9・28A 夕「福島の森林『ダメになる』—警戒地域や周辺8万ヘクタール
作業できず、除染見通せぬまま」

→9・29 A 「国会に原発事故調—喚問・招致・責任追及を視野」 「国会事故調 強
い権限—原則公開へ透明性に配慮—政治ショー化の恐れ」 「東電原価、6000
億円過大—過去10年、電気代取りすぎか」

→9・29H 「北電やらせ、原発受注企業も—大成や三菱重工…泊原発『聴く
会』で意見表明」 「やらせも『共同体』『反対派は組織的、衆愚政治』—
道主催『聴く会』、正体隠し道民ののしる」

→9・29 各紙社説、論説

A 「復興増税—自民も財源に向き合え」 / 「陸山会の資金—『挙党』で疑
惑を隠すな」 / 経済社説担当・駒野 剛「社説余滴—政治不信×国民不信
≠増税」 / 論壇時評—高橋源一郎「原発の指さし男—そのままでいいの

かい？」／酒井啓子「あすを探る・外交—専門知を結ぶシステムを」

M「復興増税協議—野党も責任意識を持って」／「787就航—空の改革も進めよう」

Y「復興増税案—3次補正へ与野党協議を急げ」／「津波対策報告—震災の教訓を実践に生かそう」

N「復興増税の規模を抑える不断の努力を」／「中国にらむ日比『戦略』関係」

T「経団連—脱原発から目をそらすな」／「求職者支援制限—真の安全網は雇用創出」

信濃毎日「リニアと環境—徹底調査と情報公開を」／「新大関誕生—角界再生もがぶり寄りで」

H「市場化テスト—失敗認め悪質企業排除せよ」

9・29

被災状況

死者 1万5813人（前日比1人増）

行方不明 3971人（前日比12人減）

避難者（9・22現在） 7万3249人

●国会原発事故調査委設置法案、衆院通過（全会一致）、衆参合同特別協議会設置法案も（9・29A夕）

沖縄密約不開示「逃げ得」許した東京高裁

9・29

沖縄返還密約文書開示請求訴訟 控訴審判決—東京高裁（青柳 馨裁判長）、1審勝訴判決取消し、敗訴判決—①密約文書の存在認定 ②当該文書は現存しない—秘密裏に廃棄したか、保管外にした可能性を否定できない ③文書を発見できなかったとする10年の外務、財務両省の調査は信用できる、などの判示（9・30M）

→9・30A「沖縄密約文書訴訟判決—東京高裁、開示は取り消し『国が秘密

裏に廃棄した可能性』 『文書ない理由、説明を』—沖縄密約敗訴—原告、
上告を検討—国に厳しい判決—外務副大臣、再調査否定」

／M「許した国の『逃げ得』—沖縄密約『廃棄の可能性、情報公開の枠外
容認』—野田政権、再調査に消極的」 『大勝利だが大敗北』—原告、廃
棄責任不問を批判『裁判した価値はあった』

→9・30 Y「東電賠償額 4 兆 5400 億円—第三者委試算、リストラ賠償要求」 「東電
原価 6186 億円過大、第三者委報告書案—過去 10 年、高い電気料 問題視」
「福島県 7828 人『転出超過』

→9・30 N「医療費、膨張止まらず—09 年度 3.4%増の 36 兆円、高齢者や高度技術
影響—国民所得の 1 割超す」

→9・30 T「天下り法人に半額超支出—エネ特会の原発予算、原資は電気代月 110
円—08 年度、9 団体に 1700 億円」 「政治介入に教育界猛反発—橋下知事の
『維新の会』が条例案—『まるで工場の品質管理』

→9・30 各紙社説、論説

A「沖縄密約判決—過去の問題ではない」／「地震・津波対策—逃げられ
る街をつくる」／編集センター次長・小田村義之「記者有論—原発テロ、
もはや『想定外』ではない」

M「津波対策報告書—『5分で避難』実現しよう」／「沖縄密約文書判決
—破棄疑惑に国は答えよ」／東京科学環境部・足立句子「記者の目—原
発事故とエネルギー政策見直し、新しい日本への転換点に」

Y「原発事故調査法案—国会の調査能力が試される」／「沖縄密約文書—
ずさんな文書管理を指摘した」

N「民間の力も借りて巨大津波の『減災』を」／「説得力ない『密約』控
訴審判決」

T「食品汚染—内部被ばく対策本腰を」／「帰宅困難者対策—災害時の通
信力を強く」

H「『復興増税』—『庶民だけ増税』はおかしい」

